

一房のぶどう



第7号

平成 18 年 5 月 15 日

編集・発行 / あきる野市教育委員会 〒197-0814 あきる野市二宮 350 ☎042(558)1111 (代)

家庭への 3つの 呼びかけ

あいさつをしましょう

あいさつは、安全で安心して暮らせる社会づくりの基本です。

「食事」と「睡眠」で規則正しい生活リズムをつくろう

「食事」と「睡眠」を中心とした規則正しい生活リズムは、情緒が安定し、気力が充実します。

食卓で心を温めよう

食事はできるだけ家族一緒に食べ、だんらんを楽しみましょう。



「交通事故に遭わないように」
新1年生に道路の横断訓練を実施(前田小学校)

平成17年度青少年健全育成講演会で「ガーディアン・エンジェルス」小田啓二理事長に、パトロール活動や青少年とのコミュニケーションについて学ぶ。



終始厳粛のうちに執り行われた入学式(五日市中学校)

見事! 銀メダルを胸に、トリノパラリンピックから凱旋の森井大樹さん



平成18年度・あきる野市教育推進スローガン

人が育ち 人が輝く あきる野の教育

スローガン達成のために重点的に取り組む課題

- いじめ、不登校ゼロへの挑戦
- 学校の安全・安心対策
- 学力向上対策
- 小規模学校対策
- 小・中一貫教育問題への取組
- 地域社会の教育力導入強化

「社会教育」の重点的な取組

市民の交流と自主的な活動を支援し、生涯学習の推進と文化、スポーツ・レクリエーションの振興、地域文化の創造、青少年の健全育成を図ります。

連携・協働

各学校、文化団体連盟、体育協会、スポーツ少年団、郷土芸能連合会、ボーイスカウト・ガールスカウト連絡協議会、青少年健全育成地区委員会、中学校区健全育成推進会議等、各種団体ほか

地域全体で子どもを育てる環境づくり活動を推進します

次代を担う子どもたちの健全な育成と安全・安心の環境づくりを目指して、家庭・学校・地域との連携により、さまざまな体験活動を通した子どもの居場所づくりを進めます。

○地域子ども教室の運営支援 ○青少年体験活動支援センターの運営 ○生涯学習支援者バンク事業の充実 ○「家庭の日」推進事業の実施 ○家庭教育講座の開催 ○図書館ボランティアの育成 ○青少年健全育成地区委員会と連携した「がくどうひなんじょ」の整備

秋川キララホール、
五日市郷土館、二宮考古館

市の歴史・文化、芸術に親しみ、伝統文化の継承と地域文化の創造に向けた環境づくりを進めます

市民が芸術活動に触れる機会を確保するとともに、市内に伝わる有形・無形の文化遺産を保護継承するための活動を支援します。

○キララホールコンサートの開催 ○芸術文化事業の実施
○地域の子どもたちへの伝統芸能等継承活動への支援（伝統文化子ども教室等） ○伝統芸能保存継承活動への支援
○「さわれる土曜日」と体験教室の実施
○指定文化財保存事業への支援

健康で、生きがいにつながる市民スポーツの振興を図ります

子どもから高齢者まで気軽に親しみ、楽しむことができるスポーツ・レクリエーション活動と健康づくりにつながる安全で利用しやすい環境整備を進めます。

○市民球場等のグランド整備 ○各運動施設の維持管理
○各種スポーツ団体の育成

秋川体育館、五日市ファインプラザ、
市民プール、いきいきセンター、
市民球場ほか屋外運動施設

秋川図書館、東部図書館エル、
五日市図書館、増戸分室

（仮称）中央図書館の建設を進めます。課題の解決につながる資料の収集・提供、学習と交流、地域情報の収集・発信体制を整備します

図書館整備プランに基づき、「いつでも、どこでも、だれもが学び、情報が活用できる図書館」を目指して各事業に取り組みます。

○中央図書館の建設 ○五日市憲法草案のデジタル化の実施
○レファレンスサービスの充実 ○学校支援事業の実施
○乳幼児サービスの充実 ○図書館インターンシップ事業の実施

市民の学習活動を支援し、学習成果を生かした社会参画の場づくりを進めます

○生涯学習ボランティア及びコーディネーター・指導者の育成と人材バンクの充実 ○生涯学習推進拠点として公民館活動、生涯学習センター活動の充実 ○市民との協働による学習機会の整備 ○良好な施設の維持管理の実施

公民館、あきる野ルピア
生涯学習センター

「学校教育」の重点的な取組

学校教育をとおして、豊かな人間性と未来をひらく学力を兼ね備えた子どもの育成を進めます。

学ぶ意欲の高揚、学習習慣の確立など、学力の向上事業を推進します

研究奨励事業 教育委員会では次の学校を研究校として指定し、教員の授業実践力の向上を進め、授業の改善や家庭との連携など、子ども一人一人の学ぶ意欲を向上させ、学びの習慣化による確かな学力を定着させる取り組みを進めます。

- 研究推進校（あきる野市）：南秋留小・秋多中（算数・数学） 増戸小・増戸中（小中連携）
- 研究協力校（あきる野市）：草花小（算数） 西秋留小・一の谷小（英語活動）
- 日本の文化・伝統理解教育推進校（東京都）：一の谷小 ○理数大好きモデル事業：多西小、屋城小、南秋留小、五日市小、戸倉小、小宮小、秋多中、五日市中 ○生きる力を育む読書活動推進校（五日市地区）：増戸小、五日市小、戸倉小、小宮小、増戸中、五日市中

環境整備事業 小学校の低中学年を中心に国語・算数に、中学校は国語・数学・英語に教科の補助員を配置し、きめ細かい指導に努めます。また、学校図書館補助員による環境整備を進めます。

すべての子どもが生き生きと楽しい学校生活を送ることができるよう、特別支援教育を推進します

東京都の特別支援教育体制・副籍モデル地域としての3年目を迎え、次の体制整備を一層進めます。

- 理解啓発活動：広報、研修会、事業報告会（11月17日午後） ○校内体制整備：校内委員会、コーディネーター ○巡回相談：相談員の訪問、専門委員会、指導補助員 ○副籍事業：連絡会、交流計画・評価 ○幼稚園・保育園等との連携：就学支援シート、ネットワーク 等

・・いじめ・不登校ゼロへの挑戦・・

子どもが互いに認め合い、また、大人が子ども一人一人の個性や可能性を適切に生かせる環境が整えば、いじめや不登校、虐待は「0」にできる。その責任が、私たちあきる野市民にあります。家庭、学校、地域の行動連携を一層強化し、このことへの挑戦をさらに進めます！

命を大切にし、思いやる心をはぐくむ人権教育を推進します

子ども一人一人が自分の大切さを認め、他の人の大切さを認めることができる環境づくりを進めます。家庭、学校、地域の全ての場で、自分自身がかけがえのない存在であり、自己のよさや可能性を自覚できる環境整備のために、家庭、学校、地域が共通の課題意識をもって地域で推進する体制を整えます。

人権教育総合推進地域事業（文部科学省）：地域推進事業としての3年目は、市内小中学校全校と都立あきる野学園養護学校の19校が、各中学校区のブロックでテーマを掲げて取り組みます。

豊かな体験活動推進事業（文部科学省）：平成9年度から継続している都立あきる野学園養護学校との学校間交流（西秋留小・一の谷小・西中）を本事業に位置付けて推進します。

の成長を全力で応援します

西秋留小学校



校長 竹川 博
副校長 安西 浩

こんな学校を目指します

- 人と人のかかわりを大切に、共に学び共に育つ学校
- 安全な学校（学びやすい環境 安心して通える学校）
- あたたかい人間関係、交流にあふれた学校
（地域との交流活動 あきる野学園との交流 外国人との交流 たてわり班活動 読み聞かせによる豊かな心の醸成）
- 学びのある学校（算数の少人数指導 得意なことの見見 特色ある総合的な学習の時間 他の方のよさの見見）
- 子どもや保護者や地域に開かれた学校
（学校公開 道徳授業公開 サマースクール 学校評議員会 外部評価）

都心より50km離れた本校は、秋川の清流にのぞみ、風光明媚な地にある。保護者の教育に対する期待と関心が高く、地域も、自分たちの学校という意識が強く、協力を惜しまない。地域活動も活発で、たくましい青少年の育成に力を入れており、学校・PTA・地域の連携が密に保たれ、その効果を上げています。

西秋留プランとして“子どもが変わり、教師が変わる学校”を掲げ、昨年度より、授業の充実、相談体制の充実に取り組んでいます。今年度は、さらに英語活動、食育教育への取り組みも行う予定です。

一の谷小学校



校長 岡部 廣
副校長 荒井 善雄

<教育目標>

- よく聞いてよく考える
- やさしい心
- 最後までがんばりぬく

<経営方針>

- ①教育活動全体を通して人権教育を推進し、人権に対する感覚や実践力を育てる。
- ②基礎的・基本的な内容の確かな定着を図り、学ぶ意欲と自信を育てる。
- ③自ら学び考え解決する力や表現力を育み、主体的に学ぶ力を育てる。
- ④地域の様々な人や自然や文化とのかかわりを通じた学びを重視し、豊かに生きる力を育てる。
- ⑤健康安全、福祉、環境、情報、国際理解等の教育を推進し、社会に対応できる力を育てる。
- ⑥学校を開き、家庭・地域との連携を充実させ、「共有」の充実を図る。

国語と算数を少人数（20名程度）で指導。学力向上に力を入れています。一の谷小ならではの教育活動で、子どもたちが豊かに育っています。安全・安心な学校作りを進めています。

一の谷小学校は、秋川を挟んでサマーランドと対面している、全館冷暖房完備の学校です。開校当時、地域の方々に寄贈していただいた500本の木は、未だに地域の方々の手によって剪定が行われており、まさに、地域の学校に対する熱い思いに支えられている地域あつての学校と言えます。現在の学級数は7学級で、児童数は219名です。

戸倉小学校



校長 倉田 守人
副校長 須崎 和英

<教育目標>

- 1 人権尊重の精神を踏まえ、特色ある教育を展開する。

- 1 考える力と思いやりの心を育てる豊かな人間性や基礎・基本を身に付ける。
- 1 心身共に健康で、自ら学び実践する児童の育成。

<子どもの姿>

- 進んで考える子
- 思いやりのある子
- 体を大切にする子

<そんなためにこんな学校を>

- (1) 心を育てる学校に
- (2) 学力の向上を目指す学校に
- (3) 特色を生かす学校に
- (4) 開かれた学校に
- (5) 安全な学校に
- (6) 信頼される学校に

7名の新入児童を迎え、全校児童37名で新学期がスタートしました。家族的な雰囲気の中にも節度をもって、明るい挨拶や子どもたちの歓声にあふれた規律ある学校づくりを目指します。

今年で開校133年を迎える戸倉小学校は、かつて戸倉城があった城山のふもとにあります。春には花が、夏には清流が、秋には紅葉があり、冬には野鳥がくる豊かな環境に囲まれた学校です。また、地域全体で学校を支える土地柄の中で子どもたちはのびのびと育っています。40年目を迎える愛鳥教育も本校の特色の一つです。

屋城小学校



校長 平田 和孝
副校長 岸田 俊昭

【レインボープラン】

1. 「いのち」の大切さを基本にした人権教育の推進
2. 「確かな学力」を身に付けさせる学力改善・向上の取組
3. 特別支援教育の充実
4. 読書好きを育てる学校図書館活動の充実
5. 多摩川など地域の自然を生かした環境教育の充実
6. AET・ユニセフなど国際理解教育の推進
7. ICTのリテラシーを身に付けさせる情報教育の推進

本校では、教育目標の「や（やさしい子）・し（しっかりした子）・ロ（ロマンのある子）」を合言葉に、全教職員一丸となって、人権尊重の精神のもと、心身ともに健康で、豊かな児童を育てようとしています。

屋城小は、「安全で安心して学べる地域の学校」を目指しています。地域は、子ども達にとって、生活と文化、学びの拠点です。子ども達が家庭・地域から背負ってくるランドセルの中身を大切にしながら、学校として何をランドセルに入れて帰らせるのかを大切にしたいと考えています。どうぞご理解とご協力をよろしくお願い致します。

前田小学校



校長 佐藤 道孝
副校長 秋本 浩市

「命を大切にし、ともに輝き生きていこう」

- 仲良く——自ら学び、考える力を育てる
- かしこく——人の良さ、自分の良さを生かし合う
- たくましく——じょうぶな体とねばり強い心を育てる

基礎基本の定着、人権教育・特別支援教育の充実を二本柱とし、地域との協力のもと、ボランティア活動、米作りなど体験学習を充実させています。ことばの教室（通級指導学級）の充実を図ります。

「前田っ子」の宝

- ①しっかり掃除ができる。だから学校に入ると、明るくきれいだとなたも思います。
- ②元気に挨拶ができる。だから、職員室や校長室に子ども達の元気な挨拶が飛び込んできます。
- ③静かに話を聞くことができる。だから校長は朝会や儀式のときマイク無しで話をします。

小宮小学校



校長 篠原 敬子
副校長 稲葉 春紀

『小宮小だからこそできること』を、最大限に追究する学校経営を行います

みなさんに開かれた、信頼される学校をつくります
心の教育を推進し、明るく燃える学校をつくります
基礎・基本を丁寧に教え、学力向上をめざします
そのために、より質の高い授業をめざして、指導力を高め合う、教職員組織をつくります

『泉わき、ヤマメが躍る みんなが自慢の小学校』

- 児童から「小宮小で学んでよかった」
 - 保護者から「小宮小に入れてよかった」
 - 地域から「小宮小があつてよかった」
 - 教職員から「小宮小に勤めてよかった」
- といわれる学校づくりをめざします。

秋川の源、開校133年の歴史と伝統を誇る、水の生まれるまちの小学校です。地域の方をお招きして『ほんものから学ぶ教育』、自生するホタル、わさびの栽培、1000匹のヤマメの飼育、全校宿泊体験教室等で『今そこにある自然から学ぶ学習』ができます。夏季には7日間の特別カリキュラムを加えて、年間207日の授業を行います。理数大好きモデル事業、人権教育総合推進地域事業の指定校として、科学実験やパソコン活用、高齢者との交流事業等を推進します。温かい地域の見守り、きめ細かな指導、全校児童がひとつになれる学校です。